



牛と牛に牛をみる

皆さんの毎日飲んでる牛乳は、酪農家の人々が一生懸命育てた健康な乳牛から生産されます。合志市は酪農が盛んで、94戸の酪農家が存在し、飼養されている乳牛総数はなんと5,236頭。近年、牛乳の消費量が横ばい状態にあるため、酪農家は消費拡大のためにさまざまな活動に取り組んでいます。今回は、皆さんが知らない酪農家の1日や、牛乳が美容と健康に良いことを紹介します。牛乳のことをもっと知り、酪農をもっと身近に感じてください。

取材協力 オオヤブデイリーファーム

お姉ちゃんが、私のミルクをとって飲んでしまっんだ!! モ〜

ほ乳バケツ
子牛が下からミルクを飲むようになっているもの

えさの内容で、牛の体調に大きく影響します。牛を観察しながら、えさの内容にも工夫が施されています。



夕方の部

午後3時~7時



- ・牛舎の掃除
- ・搾乳
- ・えさやり
- ・子牛のミルクやり
- ・明日の餌づくりまで行ったら、一日の作業終了。

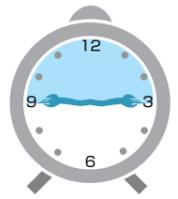
午後2時



ミルクローリー車が到着。牛乳は、泗水の工場へ運ばれます。

昼の部

午前9時~午後3時



- ・この時期は、飼料のとうもろこしを育てているので、畑の管理。
- ・牛舎で随時牛の観察をしています。

一番大切なことは、牛の観察。朝の掃除をしながらも、えさをきちんと食べているかなどチェックを行い、体調の変化をいち早くみつけます。牛は暑さが苦手なので、夏は特に気を遣います。



朝の部

午前6時30分~9時



- ・牛舎の掃除
- ・搾乳
- ・えさやり
- ・子牛のミルクやり

ジャージー牛の牛乳は、乳脂肪率が高く、コクがあります。牛は好奇心旺盛だけど、とても臆病。



乳牛豆知識

ホルスタイン牛
乳牛のホルスタインはドイツのホルスタイン州が原産地です。

ジャージー牛
ジャージー牛はイギリスのジャージー島が原産でイギリス王室の御用達の牛乳です。

牧場の片隅にロバ・羊を発見。これは?と尋ねると、「ペット」という答えが。近所の親子がロバのいる広場で日なたぼっこする姿もよく見かけます。さまざまな形で地域に貢献しています。



〜ペットはロバ〜

牛乳を「飲む」だけでなく「食べる」ことも定着させていこうと活動を行っている合志市酪農女性部の部長を務める大藪さん。また、牧場の隣でアイスクリームショップを経営するなど、大藪パワフルです。結婚するまでは、横浜で教師という別世界にいたことにも驚きます。大藪さんは、人生を振り返ったとき、「輝いていたよ」と思いたいと話します。オオヤブデイリーファームの挑戦はまだまだ続きそうです。後継者として息子裕介さんの若い力も加わり、これからさらに楽しみです。

〜輝いたよなと 思える人生を〜



オオヤブデイリーファームには、酪農体験・見学に年間約1,500人の子どもたちが訪れます。農業の大切さを学ぶ場を提供すると同時に、子どもたちが自分で自分の健康を守るよう食育も行っています。牛とふれあい、食育を学んだ子たちから、嬉しい便りが届くこともあります。



大藪 真裕美さん

〜子どもたちに、農業の大切さを学ぶ場を〜

